手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議（平成２９年度第４回）
結 果 概 要

日　時：平成３０年２月２０日（火）午後３時～４時５分
場　所：鳥取県庁　特別会議室（議会棟３階）
出席者：別紙（省略）のとおり

○報告事項

✧　**第５回全国高校生手話パフォーマンス甲子園基本計画について（資料１）**

２月７日（水）に開催した平成２９年度手話パフォーマンス甲子園実行委員会総会にて承認された第５回全国高校生手話パフォーマンス甲子園（以下「第５回大会」という。）基本計画の概要を事務局から報告した。
（大会日程は現時点で未定であること、できる限り速やかに日程を確定するべく関係機関と協議を行っている旨等も併せて補足説明。）

【各委員の意見】
・特になし。

○議題

✧　**議案第１号：第５回大会開催要項について（資料２）**

第５回大会の開催要項について、前回大会からの改正点を中心に事務局から説明した。

⇒　第５回大会開催要項については、原案で承認された。

【各委員の意見】
・10(5)関係（補助動作等を含め、演技は生徒が行うこととする）で、過去大会で熊本聾学校が音声通訳を引率の先生が行っていた件も、制限の対象になるのか？（森原委員）
　→　制限の対象と考えている。（先生が音声通訳を行うことは認めない。）

・大会日程はいつ決まるのか？決定が遅れると、参加が困難となる高校も出てしまう。少しでも早く決めてほしい。（田中委員）
　→　了解。相手があることであり時間が掛かっているが、なるべく早く決定できるよう引き続き、働きかけを行っていきたい。

✧　**議案第２号：第５回大会予選審査及び本大会出場チーム選考実施要領について（資料３）**

第５回大会の予選審査及び本大会出場チーム選考実施要領について、前回大会からの改正点を中心に事務局から説明した。

⇒　第５回大会予選審査及び本大会出場チーム選考実施要領については、原案で承認された。

【各委員の意見】
・初出場枠についての賛同意見あり。（田中委員・廣田委員）一方、今後に向けて、初出場枠の対象校かどうかの管理を適正に行う（全国の高校等の動向を把握する）必要性についての助言もあり。（廣田委員）

・今回、“手話”を“手話言語”という言葉に変更した考え方を教えてほしい。（田中委員）

→　昨年９月に施行された“あいサポート条例（愛称）”の条文を策定する際、全日本ろうあ連盟や鳥取県聴覚障害者協会から“手話”ではなく“手話言語”という用語を条例に採用してほしいという要望を受け採用した経緯があり、今回、その流れを踏襲したもの。この大会で使用する手話という言葉を全て手話言語に変えようということまでは考えていないが、要項や要領という最も大きな核となる部分において表記を変更することとしたもの。

・昨年、不参加という事実に衝撃を受けたが、第５回大会に向けて鳥取聾学校が参加できるか心配している。ろう学校の生徒数の減少という全国的な問題はあるが、鳥取聾学校の再びの参加実現をぜひ皆で応援したいと思っている。（大杉委員）

→　応援は大変ありがたい。確かに生徒数の減少という問題を抱え、昨年は残念ながら参加がかなわなかったが、今年は何とか参加ができるよう努力していきたい。（霜村委員代理（鳥取聾学校 教諭））

○その他

✧　今後の日程について（資料４）

✧　全日本ろうあ連盟賞及び日本財団賞の取扱いについて（資料５）

各内容について、資料に沿って事務局から説明した。

【各委員の意見】

特になし。

✧　予算の執行状況について（資料６）

先日の手話パフォーマンス甲子園実行委員会総会で承認された今年度の手話パフォーマンス甲子園実行委員会補正予算について、事務局から説明。

【各委員の意見】

・協賛金の獲得に向け、どういった時期に呼びかけを行ったのか？（国広委員）

・ライオンズクラブの中には、障がい者支援に理解のあるクラブも多くある。もし、ライオンズクラブに声かけしていないのであれば、協賛金の呼びかけを行ってみては？（森原委員）

→　５月くらいから本格的に協賛金の呼びかけを行った。ライオンズクラブには呼びかけは行っていなかったので、ぜひ第５回大会に向けては行ってみたい。

・手話パフォーマンス甲子園応援自動販売機の設置状況と、今後の設置に向けた考え方を教えてほしい。（国広委員）

・鳥取城北高等学校は、現在校舎を建て替え中。そういうところは（自販機設置のチャンスがあると思うので）設置をお願いしてみては？（田中委員）

→　現在、東部聴覚障がい者センターが入居している鳥取市文化センター、県聴覚障害者協会の敷地内、境港市役所の３か所に設置している。今後も、設置個所は増やしていきたいと考えている。

→　鳥取城北高等学校の件は了解。ぜひ、お願いしてみたい。

✧　その他、大会全般に向けたご意見

【各委員の意見】

・関係機関との調整もあるので難しいと思うが、もし可能であれば、中間考査のある１０月初めは大会日程から外していただければありがたいと思っている。（山根委員）

・先日開催した校長会の中で、（実行委員会の方から参加の要請があると思うので）実習製品や製作物の販売やボランティアの参加呼びかけを行った。ぜひ、多くの高校生が参加できるよう取組を継続してほしい。（山根委員）

・県高等学校文化連盟の中に郷土芸能部門があり、来年度開催される西部地区では、具体的に米子白鳳高等学校の淀江さんこ節や日野高等学校の神楽といった活動がある。よかったら参加してはどうかという形では参加が実現しないので、ぜひ連盟や学校に早めに直接参加の働きかけを検討してほしい（山根委員）
・西部地区にはＪＲＣ（青少年赤十字）部の組織があるので、ぜひ大会の参加の呼びかけを検討してほしい。（山根委員）

→　了解。いただいたご提案について、ぜひ対応していきたい。

・今年７月に本県で開催される私立学校のＰＴＡ役員の全国大会の中で、高校生の学習発表を行うこととしているが、鳥取県の童謡に関連した合唱の他、鳥取県らしいものということで鳥取城北高等学校ボランティア部の手話パフォーマンスを行ってもらおうということになった。手話パフォーマンス甲子園で経験したことが違う場でも生かすことができていいことだと感じるとともに、鳥取県の特色にもなってきたのかなというように感じた。（佐伯委員）

別　紙

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議　出席者名簿
（平成２９年度第４回）

役　職	所属　・　役職名	氏名（敬称略）	出　欠 （代理：敬称略）
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	宮本　則明	出
委　員	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽　伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原　早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広　生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中　優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田　憲昭	出
	鳥取県教育委員会事務局 教育次長	寺谷　英則	出
	鳥取県高等学校長協会 会長	山根　孝正	出
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	佐伯　友茂	出
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺　孝子	（教諭 霜村 新）
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田　喜春	出
	国立大学法人筑波技術大学　教授	大杉　豊	出
事務局	障がい福祉課長	小澤　幸生	
	障がい福祉課社会参加推進室 室長	明場　達朗	
	障がい福祉課社会参加推進室 課長補佐	竹ノ内　司修	
	障がい福祉課社会参加推進室 係長	安永　孝文	